

牧師室から (2022.5.8)

私が大好きな詩を一つ紹介したい。

韓国の詩人、尹東柱(ユン・ドンジュ)の詩集『空と風と星と詩』からのものである。

「序 詩」

死ぬ日まで天を仰ぎ

一点の恥ずることなきを

葉あいにもそよぐ風にも

わたしは心痛んだ。

星をうたう心で

すべて 死にゆくものを愛^{いと}しまねば

そして わたしに与えられた道を

歩みゆかねば

今宵も 星が風に吹き晒される。

詩を訳すことは、とても難しいことで、伊吹卿氏の訳をもとに、金時鐘氏訳などを参考に選び取る形にした。

尹東柱(ユン・ドンジュ 1917年12月30日～1945年2月16日)は、1943年日本による支配の下で、思想犯として逮捕されて福岡刑務所で獄死した。満27歳であった。彼が通っていた同志社大学には彼の記念碑がある。

彼の詩集にある詩には、クリスチャンであった彼の信仰と清純で高貴な品格が感じられる。

(鈴木善姫牧師)